

津山市第5次総合計画 分野別懇談会の様子と意見要旨 ～現場から津山の未来を考える！～

日時 平成27年2月2日(月) 10:00～ 場所 津山市役所 大会議室
テーマ まちづくり 参加団体数 18団体

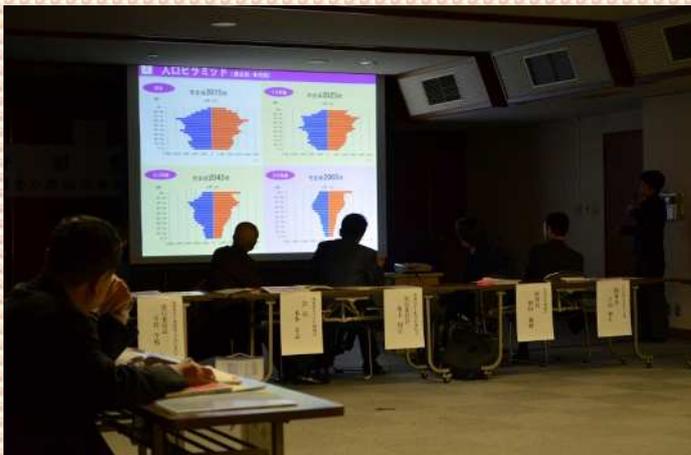
市長あいさつ



会場の様子



人口推計資料の説明をみなさんで聴き入ってます



分野別懇談会では、お一人おひとりからご意見・ご提言をいただいています



いろいろな方からのご意見・ご提言は計画に活かしていきます



現在、働いている若い男性・女性からもご意見をいただきました



人口減少への取組みはみんなで考えて将来の津山市へつなげていきましょう！





分野別懇談会（まちづくり）での

みなさんからの意見・提言です。

- 運営や活動は住民でお金も出して頑張るが、基本的な部分は支援を
- 自然景観やまちなみ景観の維持の充実を！
- 高齢者や子どものための公共交通の整備を！
- 専門家と市民の連携による、歴史的建造物の保存・活用が必要
- 雇用なくして定住なし！
- 県北の拠点都市として、広域的な視点をもって、県域内の連携や役割分担の推進が必要
- 学力向上も重要な要素
- 女性の視点でのまちづくりを（各種会議での女性比率の向上）
- 活動メンバーの高齢化が課題であり、人材の育成や人員の確保が必要
- 高齢になっても、いつまでも支える側でありたい、という気持ちでがんばりたい
- 公民館の利用の幅を広げ、「小さな拠点」として地域活動の中心としては
- 地域活動の「ひと、もの、お金」の持続するしくみづくりを！
- 郊外地域も、資源を活用した、田舎暮らしや田舎体験の観光などの取り組みを
- 先進的な子育てができるまちになれば、定住促進につながるのでは
- 市外在住の津山市出身者を組織化しUターンの促進
- 人口が減ってもごみは増えるので、市外へ出さず、市内で有効利用を
- 農地法の緩和により農地付住宅を売り出せば人気が出る
- 人口減少に抵抗するために津山市民みんなで頑張ろう
- 人権感覚を日頃から考えることが大事
- 空き店舗情報を発信して人を呼び込みたい
- 空き家や既存施設を活用した手仕事の人たちの場所づくり
- 歴史文化遺産を活用し、圏域全体での観光を
- 見てもらうだけでなく、交流を図ることで、地域の人にも誇りや愛着が生まれる
- 人物に着目し、ドラマやストーリーの視点での観光の取り組みを考えたい

など、多くのご意見が、活発に出されました。

みなさんから前向きで真剣な具体的な提案をたくさんいただきました。

参加された皆さん、大変お忙しいところありがとうございました。